

重誓寺報

第45号 令和元年11月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090

『嘘も方便』という諺ことわざがあります。「事をうまく運ぶためには、一つの手段として時には嘘が必要なこともある。」という意味ですが、本来「方便」に嘘は含まれていません。広辞苑には「衆生を教え導く手段」とあります。

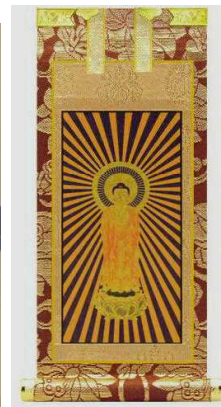
お仏壇の中心におられる阿弥陀如来様ですが、
本山からお迎えした絵像の裏書きには
「方便法身尊形」と書かれています。

仏様は色も形もない、我々の思考を超越した姿
(法性法身) ですが、教えを伝えるため、私
ちが理解出来る形(方便法身)として現れて下さ
ったのがこの姿なのです。

仏様は、絶え間ない無量の光と智慧を私たちに届けて下さっています
ので身からは光を放ち、またお仏壇は浄土を表すために輝く金箔を貼り、
花が咲き鳥が飛ぶ様子が表現されています。

近年のお仏壇は、黒や木目調の落ち着いたものが好まれるようです。
時代と共に変わってゆくのは何でも同じことですね。

しかし、本来そのお姿がなぜきらびやかに表現されているのかを考え
れば、私たちの好き嫌いで選ぶのは違ってくるのかと思います。先祖や
私たちを必ず救うと誓って下さる阿弥陀如来やお浄土は、やはり光り輝
く姿なのです。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

親鸞聖人報恩講

十一月二十日(水)、二十一日(木)

午後二時、七時

講師 枚方浄行寺 義本弘導師

常例法座

十二月二十日(金) 午後二時

講師 千林浄光寺 中西昌弘師

以降は追ってお知らせします。

修正会しゅうしょうえ(元旦会)

元旦 午前八時より約一時間

お勤め、法話、流盃

大晦日は午後十一時より

一日午前一時まで開門致します。



心に残った法話のお言葉

森の中を進もうとしても、道を知らない者は必ず迷います。私がお寺に参ろうとする事は摩訶不思議なことです。それを導いた先祖の縁があるからなのです。

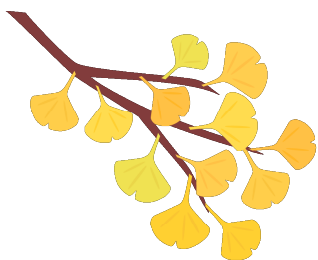
(六月 平戸昭乗師)

浄土真宗はただ念仏一つの教えです。蓮如聖人は念仏に出遭うことは人生の一大事と言われました。お念仏が出るといふことは、必ず救うとおっしゃる仏様が口から出てくださることなのです。

(七月 不死川浄師)

昨日の私はもういない。明日の私はまだいない。今日の命を大切に。これが諸行無常ということなのです。

(九月 寺本正尚師)



親鸞聖人 和讃の教え

智慧ちえの光明こうみやうはかりなし

有量うりやうの諸相しよそうことごとく

光こうきやう 暁きやうかぶらぬものはなし

真実明しんじつみやうに歸命きみやうせよ

(浄土和讃 四)

阿弥陀如来のさとり智慧は限りない光りであつて、限りあるいのちを生きるすべての者を包んで、何にも遮られることなくはたらいてくださる。闇を晴らす暁のごとき真実の光をいただいで生きよう。

水は何色？

NHKの人気番組「チコちゃんに叱られる」によりますと、普通は透明と答えますが、実は薄い青色なのだそうです。確かに大量の水が集まった海は青く見えます。

太陽の光はあらゆる色を含んでいます。私たちは、物に光が当たり、吸収せずに反射した光の成分で色を判断しています。青い物は、それ以外を全て吸収し、青の光だけを反射しているのだそうです。全ての色を反射すると白に見え、全ての色を吸収すると黒く見えるのです。

しかし、いくらカラフル物でも、闇の中で反射する光が無ければ、それはただの黒色でしかありません。

煩惱をたくさん持った、まさに闇の中を歩む私たちに、阿弥陀さまは遮られることのない無量の光を届けてくださっています。私たちはその光に照らされることで、輝く命を確認できるのです。



本堂正面の階段に、手すりが付きました。今時当たり前のことなのですが、残念ながらお寺をはじめ日本家屋は段差が多く、バリアフリーにはほど遠い構造になっています。



少しでも皆様にお参り頂きやすい環境にしたいと思しますので、お気づきの点がありましたらお知らせ下さい。

報恩講や永代経の前日、婦人会の方々に法要の準備や掃除をお願いしております。よろしければ、是非皆様にもお手伝い頂ければと思います。男性も歓迎です。お時間のある時で結構です。

永代経 三月、九月
報恩講 十一月 二十日、二十一日

準備 前日の十九日、午後一時から
一時間程度

阿弥陀さまと私

というリーフレットがあります。お仏壇のお飾りや葬儀についてなど、普段の疑問点などが簡潔にまとめられており、保存版としてご利用頂けます。ご希望の方にお分けしますの
で、お申し出下さい。



お参りの変更や相談など、ちょっとした連絡をメールでもお聞きします。お気軽にお問い合わせ下さい。ただし急ぐ場合や返事が無い時は必ず電話でお願いします。

重誓寺 E-mail juseiji@gmail.com(携帯)
TEL 06(6951)0090